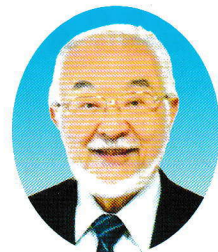


おおとり会だより

壬寅の年の初めに

静岡県立大学学長

尾池 和夫



二〇二二年、皆さまご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年四月に鬼頭宏先生ご退任の後、私は静岡県立大学学長に就任し、しばらく大学を見渡してきました。今年度より制度が大きく変わり、静岡県立大学法人理事長と法人が設置している静岡県立大学学長とが兼任されることになり、より一層小回りのきく大学運営ができるようになりました。さらに最近の役員会で事務組織の一体化が決定され、法人、大学、短期大学に分かれていた事務組織が今年の四月から一つの事務部となります。

この事務組織の一体化にともない、来年度には仕事の内容を精査して一層効率よく運営ができるように改革に取り組み所存です。このような大学運営の改革に関しても、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

二〇二二年の年頭には三〇項目について学長としてのさまざまな視点から考える大学運営の方針を教職員全員に説明しました。現在、すでに数十名の教職員からその内容に関する提言などがメールで寄せられており、教職員の大学運営に関する関心の高さを頼もしく思っています。

この二年ほどは、新型コロナウイルスによる感染症の対策のために、学生たちの学習とキャンパスライフにたいへんな不便を求めることとなりました。しかし、さまざまな工夫が迅速に実現したこと、またワクチンの二回の職域接種が順調に行われたことなどのおかげで、教育などに大きな支障をもたらせることなく、学習が進められています。学園祭は皆さまをお招きして本来はキャンパスでの祭典となるはずでしたが、それが適わず、二〇二一年度はオンラインでの開催となり、学生たちが積極的に新しい企画を進めてくれました。その成果がインターネットを通して逆に広くご覧いただけるといふ効果もありました。法人化して長らく懸案であった静岡県立大学全体の同窓会が昨年発足して、山田会長が就任しました。これもまことに目出度いことと喜んでいきます。卒業生の皆さまがそれぞれの出身母体の同窓会組織で活動されると同時に、他分野の卒業生たちと広く交流しつつ活躍の場を拓げ、また後進の支援をばひろい視野で行っていただけることになりました。大学全体の活動を促進していくために必ず大きな影響が与えられることになると確信いたしております。これもひとえに、おおとり会をはじめとする各同窓会のおかげと感謝しております。

昨年十二月には「おおとり会賞」をクラブ・サークル団体にご支援を賜りました。感染症対策などで特別な状況の中ではありますが、それだけに学生たちに小回りのきく支援をすることができました。深く感謝すると同時に、引き続きなお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。

静岡県立大学 同窓会連合会スタート

令和元年九月、独自に活動していた県立大学の七つの学部同窓会に、「お互いを繋ぐ連合組織の設立に協力を」というお誘いがありました。おおとり会でも、これを受けて臨時理事会が開かれ、協議の末、正式加入という結論に至りました。その年の剣祭において、同窓会連合会が動き始めました。

その後、各同窓会選出の理事により組織・会則等について最後の詰め協議をする予定でしたが、コロナ禍により中断、令和二年八月よりズームによるオンライン会議が重ねられようやく最終的な会則が完成しました。おおとり会でも昨年の総会において承認をいただきましたが、全同窓会の賛同が得られ令和三年十一月二十四日県立大学において発足式が開かれました。

当日は、尾池学長、合田先生、神戸事務局長、小林学生部長、小谷学生室長がご出席下さいました。会長は山田裕嗣さん、顧問には木苗直秀県教育長、合田敏尚同大「ふじのくに」みらい共育センター長が就任しました。内外ともに認められた組織として今後各同窓会の交流や情報共有・大学と地域社会の協業を目指して活動をしていくことになりました。



連合会発足式の後、記念写真を撮影する参加者
＝静岡市駿河区の県立大（静岡新聞2021年12月3日掲載）

輝く女性シリーズ VII



元気な大人の姿を 若者に見せませんか？

久保田 香里

国文学科 (大学十六回生)



おひとり会の皆様、いかがお過ごしですか？

私はこの二年間、コロナ禍の教育業界における大変革に立ち会っており

ます。静岡県内に中学から大学まで十二校を有する学校法人静岡理工科大学の一角、静岡デザイン専門学校校長として学校運営に携わり、早いもので就任から満十五年になりました。毎年、二十歳前後の若者達が大人になり社会に巣立っていく成長の日々を楽しく見守ってきましたが、二年前の春、緊急事態宣言により学生が登校できない事態が現場を襲いました。そこで私達は大意で遠隔授業のノウハウを研究し共有、約六〇〇名の学生のハード環境を整え、五月連休明けから全校一斉遠隔授業をスタートさせました。当初心配されたデザイン、ビューティーなど実習の多い専門科目も複数台のカメラや映像活用、デジタル上での課題のやり取りなどの工夫により、逆に遠隔の方が学習効果を上げやすい科目もあることがわかってきました。今では、感染拡大状況に合わせて遠隔と対面をいつでも切り替えられるハイブリッド型授業が「ニューノーマル」となっています。社会全体もDX(デジタルトランス

フォーメーション)が進み、社会構造や人々の生活が大きく変わる節目となりましたが、私も教職員と共に「学生の学びを止めない」という情熱をもってこの大変革に向き合えたこと、大人達が挑戦する姿を学生に見せることができたことは大きな自信になりました。そして「出来ないことなど無いのだ」と改めて実感しました。

私が就職した昭和六一年は男女雇用機会均等法施行元年。組織の中で女性が働き続けることの楽しさも大変さもたくさん体験してきました。また、昨年社会人になった一人娘の子育ては家族親戚や友人の協力なしでは成り立たなかったものでした。現在は要介護の母の世話を主人や妹がサポートしてくれるおかげで仕事が続けられています。それらの経験が少しでも社会のお役に立つのであれば、今は静岡県雇用対策審議会など行政や団体の委員も色々お受けし、議論の場に並ばせていただいています。コロナ禍での非正規雇用女性の失業が話題にもなりました。法律やプロジェクトでまだ特別扱いされる「女性活躍推進」の時代から、誰もが当たり前になるその時ごとの自分らしい生き方で活躍できる時代に進むことを望んでいます。

また、ご縁をいただき現職にある以上、社会の「専門学校」に対する理解向上にも役割を感じています。専門学校は大学や短大と並ぶ高等教育機関の一つで、静岡県内には九二校、約一万五千人が学んでいます。学生はほぼ県内出身者で、その多くが県内で就職し静岡の産業を支えています。つまり静岡県の発展のためには県内大学とともに、県内専門学校卒業生の活躍の場の確保が重要です。そこで、本校では教育活動の情報発信や、産官学連携を推進し学生が街に出て多くの方々と関わり互いを理解する機会を創出しています。また、小中高でのキャリア

教育支援、社会人の学び直しの際の提供など、専門教育機関の社会的責任の一端をこれからも担っていかれたらと思っています。

仕事柄、前に出る場面が多い毎日ですが、本来の私は裏方タイプ。舞台でいえば、脚本を書いたり配役を決め演出したり、役者の個性をどう引き出し、いつスポットライトを当てるか考えたりすることが好き、そのワクワクは日常の私の仕事にも繋がっていて、学生はもちろん、卒業生や教職員、非常勤講師それぞれを光らせることが大好きなのです。そんな自分を分析し十年程前に自分のミッション(使命)を決めました。私の使命、それは「愛をもって人の成長に尽くす」迷った時、悩んだ時はいつもここに戻ることにしています。

学生の一人がコピーライティングの授業で私のコピーを書いてくれました。「ひよこ」と現れふわっと笑う、いつも見てるよ校長先生「伝わっていることが嬉しくなった出来事でした。子供や若者は大人達を、観ています。どうせなら元気な大人の姿を見せたいものです。おひとり会の皆様もどうかお元気で、これからもお自分らしく活躍ください。



学校近隣の伝馬町。自治会、発展会、小学校と本校学生のコラボによるまちづくりイベント。

令和三年度総会報告

令和三年六月十三日(日)アイセル21において、おおとり会総会が開催されました。

昨年は、コロナ禍のため中止となり、二年ぶりの開催となりました。まだ予断を許さない状況ではありましたが、議事の報告・承認を中心とした同窓生のための縮小形式で、会場も例年とは異なる所で開催致しました。万全の感染予防対策を講じた開催となり、恩師先生方をお招きできなかったことは残念でしたが、初代会長牛木様、副会長原様、前会長長屋様、副会長青木様が出席下さり、参加者一同感銘し、大変嬉しいことでした。

第一部では、令和二年度事業報告・会計報告及び会計監査報告があり、続いて事業計画案・予算案が提案され審議致しました。いずれも賛成多数で可決承認されました。今年度は、役員改選期にあたり、役員選考委員より提案され、一部理事の交代がありました。二期目統投が承認されました。また、今年度のおおとり会賞について、新型コロナウイルス拡大で不安を抱える新入生をサポートするためポータルサイトを立ち上げたK-commuの団体が

受賞したことこの報告がありました。コロナ禍での大学と学生をつなぐサイトとして果たした役割は大きく、今後の活動に期待したいと思います。



第二部では、静岡市女性会館館長谷口年江様よりご講演をいただきました。谷口様は食物学科の同窓生です。コロナ禍により、開催が危ぶまれる中、快くお引き受け下さいました。今の時代にタイムリーな「ジェンダー平等」等の問題をプロジェクトを使ってわかりやすくお話下さいました。私たちの同窓生がこのように活躍されていくことに敬意と誇りを感じます。

コロナ禍にも拘らず、総会にご参加下さいました皆様には心より御礼申し上げます。来年度は、多くの皆様が集える会となりますよう願っています。



(右から) 牛木・原・長屋・青木様

理事會から

はばたき寄金について

令和二年度の『おおとり会賞』は、下段に掲載した『K-commu』に授与されました。

理事会では今後も十年間『おおとり会賞』として、県大の『はばたき寄金』に寄贈する方針が提案されました。

令和四年度のおおとり会総会について

コロナウイルス感染予防に万全を講じ、昨年度と同様、議事の報告・承認を中心とした形で、六月十二日(日)に開催する予定です。詳細は、同封の『同窓会総会御案内』をご覧ください。

はばたき寄金

K-commu(令和二年度『おおとり会賞』受賞)

K-commuは、新型コロナウイルス感染症拡大を機に、静岡県立大学の学生がよりよい学校生活を送ることを目指し立ち上がった学生団体です。サイトやSNSを運営するPR班とイベントの企画・運営するアクション班に分かれ、学生のニーズに定める活動を行っています。二〇二〇年度後期では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けてしまった一年生のために、様々なイベントを企画し実施しました。学生同士が繋がる場を作ること、心がけてきましたが、今後は学生と教職員が定期的に交流する場も設けることができると思っています。

K-commu



コロナ禍での介護施設ではどんな時も食事は一番の楽しみ

岩崎たか江

食物学科(大学八回生)

コロナ感染症が流行して施設での生活は一閉鎖社会になり入所者をはじめ職員も外界との間に壁を作らざるをえない状況です。毎日、殺菌消毒の定時作業やどんなに寒くても30分に一回の換気を行います。予防接種をしても家族様との面会もできず昨年少し面会を解禁した際は陰圧室での面会となりました。現在は再び面会禁止です。ご家族様からの差し入れや着替え品は一定期間殺菌放置時間経過後入所棟へ運搬可とする厳格な方式を実施しています。通所棟と入所棟との交流も禁止しており、施設で実施していた行事等は中止せざるをえません。季節ごとの行事がなくなり、認知症の利用者様は症状が悪化する方もあります。体調をくずされる方もいて、病院を受診しても重症でない限り入院させてもらえません。看取りになる方もあり、ターミナルケアをする人数が増えています。辛い毎日が続くのか先が見えない現実があります。ご家族様もとても悲しい思

いをなさっていると思います。

入所者の方には、マスクをすることの意味を理解できていない方もいて習慣づけるのも大変です。食事席は入所居室ごとに決められて、黙食で食べていただいています。入所者にとって毎日の朝食夕食の三食とおやつが唯一の楽しみだとの言葉をもらっています。その希望に少しでも応えるため季節感を感じていただく献立を作成し、行事食は手づくりで毎月豪華料理を提供しています。言葉も多く発することができませんが、喜んでにこやかに食事を食べていただける姿を見ることが唯一の救いです。「おいしかったよ、昔を思い出したよ」と手紙やメモを下さる入所者様もいて、心が少しほっとする時があります。

今はできる限り、施設としての感染防止を厳守しながら入所者様に喜んでいただける食事サービスを実施していくことが、このコロナ禍を乗り越えていく管理栄養士の任務だと思っています。



令和2年度 決算報告書

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

総収入 7,023,896円 総支出 965,544円 残高 6,058,352円(繰越金)

(単位:円)

収入の部					支出の部				
費目	予算額	決算額	増減	備考	費目	予算額	決算額	増減	備考
預金利息	5,000	965	-4,035	定額郵貯・通常郵貯	事業費	200,000	200,000	0	県立大、学生支援
基金入金	500,000	1,034,993	534,993	314件	会議費	150,000	43,605	-106,395	役員会、理事会、会報編集会議等
剣祭収益金	10,000	0	-10,000		印刷費	20,000	1,880	-18,120	会議用資料、総会用冊子
					通信費	20,000	19,937	-63	会議通知、連絡等
					慶弔費	50,000	4,565	-45,435	祝電
					事務雑費	50,000	7,370	-42,630	文具、振替口座通知票送付料
					サキデザイン社	220,000	193,380	-26,620	会報、総会案内印刷
					株サラト	600,000	494,807	-105,193	会報・総会案内発送業務、メンテ契約料
					予備費	80,000	0	-80,000	
小計	515,000	1,035,958	520,958		小計	1,390,000	965,544	-424,456	
前年度繰越金	5,987,938	5,987,938	0		次年度繰越金	5,112,938	6,058,352	945,414	
合計	6,502,938	7,023,896	520,958		合計	6,502,938	7,023,896	520,958	

上記のとおり報告致します。

令和3年3月31日

会長/鈴木明美

会計/井上明子・大倉一美

監査の結果、相違なく適正と認めます。

令和3年4月4日

会計監査/西脇里美・三浦育美

令和3年度 予算

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

総収入 6,110,352円 総支出 6,110,352円 残高 0円

(単位:円)

収入の部					支出の部				
費目	3年度予算額	2年度予算額	増減	備考	費目	3年度予算額	2年度予算額	増減	備考
預金利息	2,000	5,000	-3,000	定額郵貯・通常郵貯	事業費	200,000	200,000	0	総会、剣祭
基金入金	50,000	500,000	-450,000		会議費	150,000	150,000	0	役員会、理事会、各委員会
剣祭収益金	0	10,000	-10,000		印刷費	20,000	20,000	0	会議用資料、総会資料印刷
					通信費	20,000	20,000	0	会議通知、連絡等
					慶弔費	50,000	50,000	0	弔電、香典、記念品等
					事務雑費	20,000	50,000	-30,000	文具等、振替口座通知票送付料
					サキデザイン社	220,000	220,000	0	会報、総会案内印刷
					株サラト	600,000	600,000	0	会報・総会案内発送、メンテ管理料
					予備費	80,000	80,000	0	
前年度繰越金	6,058,352	5,987,938	73,154		次年度繰越金	4,750,352	5,112,938	-362,586	
合計	6,110,352	6,502,938	-392,586		合計	6,110,352	6,502,938	-392,586	

*他費目への流用を認める

前年度繰越金内訳 (郵貯定額貯金 4,181,207円) + (郵貯通常貯金 1,877,145円) = (合計 6,058,352円)

おとり会会員名簿変更についてのお願い

住所変更および住居表示変更の場合は下記の名簿係またはクラス幹事までご連絡ください。

尚、クラス幹事は変更内容を各科の名簿係にお知らせください。変更はホームページ上でも受け付けております。

★国文学科 萩倉あおい

★英文学科 瀧 智子

★食物学科 赤堀美里

★被服学科 長田直子

おとり会寄金へご協力お願い致します。

一昨年度は、多くの会員の皆様からご協力いただきありがとうございました。コロナ禍ではありますが、会の運営に必要な費用(主に会報の発行・発送)として、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。尚、ゆうちょ料金が新設・改定されましたので同封の振込用紙の説明をご確認ください。

計報

令和二年二月報

(元静岡女子大学国文学科教授)

上條 彰次先生(九十三才)

御冥福を心からお祈り申し上げます。

おとり会 ホームページへようこそ!



おとり会の最近の情報を掲載しています。静岡県立大学のホームページからもアクセスできます。ぜひ、ご覧下さい。

★アドレス
<https://dousoukai.site/ootorikaihp/>

編集委員

石田 加苗・岩崎 つか江
加藤 久江・森 恵美